

清水 ゆき

開成町議会議員
—活動報告書—

令和7年春夏号 5月発行討議資料
発行責任者：清水友紀支援の会
連絡先：※電話番号は紙面に掲載
yukishimizu06@gmail.com

日々の活動記録、過去の報告書



はこちら
≡ブログ。他X、
Instagram

写真：R.7年2月 町政施行70周年記念式典にて

【ごあいさつ】 令和5年4月に初当選して早2年、議員の任期半分を終えました。引き続き現場の声に耳を傾け、議員活動に励んで参ります。本紙では2年を振り返るとともに、令和6年度後半（10月～3月）の活動をご報告いたします。

清水ゆきの公約（選挙でかけた約束）3つのテーマ

①

老いも若きも助かる 福祉と行政サービス

～要支援者、高齢独居、ペットがいる家族の防災、情報の分かりやすさ～

がんばり
ましよう

②

育児と教育の質向上、 親子の愛郷心（ふるさとを愛する心）を育む

～経済格差・体験格差の改善、国際的・文化的な学び、遊び場～

まだ
いける

③

足柄の魅力底上げで 地域経済の好循環

～広域の交通・情報網、農業と自然環境～

まだ
いける

自治会長のときに最も問題視していた課題です。町ホームページの検索、案内は全体的にしやすく、分かりやすくなりました。ペット同伴避難は獣医師会や近隣市町との情報共有が進んでいます。しかし、孤立しやすい高齢者のみの世帯や乳児がいる家庭の調査がまだ足りません。関連質問は予算・決算質疑に偏りました。

発達支援や不登校など、とくに少数派の声に耳を傾けました。まだ改善の余地がありますが、今年度、特別支援学級の新任教員就任はありません。情報サイトも改善されました。また開成町の由来「開物成務」、矢倉沢往還などを扱い、温故知新・海外文化交流はふるさとを知るほど生きることなど訴えました。初めて知ったという声が多く届いています

環境や町の景観に配慮したまちづくりや、農地保全の難しさに関する質問を重ねました。遊休農地を利用したふれあい農園の拡充、農政の見直しや企業誘致優遇制度の策定等につながりました。あしがら産業集積ビレッジ（南足柄市境に新たにできる工場地）を一般質問で大きく取り上げ問題提起したことは、該当地区の住民に喜ばれました。

タイトルそのままではなくテーマを記しています

一般質問！

「災害時のペット同行避難」(R5.6月)

「公共施設の利用」(R7.3月)

他、公共交通の充実や、福祉の見守り支援サービスについて予算質疑など。

一般質問！

「小学生の投票と学校運営」(R5.6月)

「不登校、人材育成支援」(R5.12月)

「特別支援学級、「人」が資源」(R6.6月)

「開物成務と地域ぐるみの教育」(R7.3月)

一般質問！

「駅周辺地区の将来像」(R5.6月)

「農業、農地を守るには」(R5.9月)

「産業ビレッジ、企業誘致」(R6.3月)

「都市計画と自然環境」(R6.9月)

※一般質問とは、議員個人がテーマを決め、町の方針等について議場で30分～1時間、質問や提案を行うこと。他、議員は議会での質疑（決められた議案について説明を求めること）などの機会を利用し、町民の思いを代弁します。